

赤い羽根共同募金が今年もはじまります

今年も10月1日～12月31日の期間で全国一斉の期間で『赤い羽根共同募金』が始まります。佐世保市内で集められた募金は、佐世保市内での地域福祉や、施設整備費、ボランティア活動支援などに活用されています。

寄付する人、寄付を募る人、そのボランティアの力で共同募金は支えられています。佐世保のまちをよくする共同募金への皆様の温かいご理解とご協力を今年もよろしくお願いいたします。



児童センターからのお知らせ

第24回 羽ばたけ児童センターまつり開催

佐世保市9館の児童センターが合同で、おまつりを開催します。楽しいゲームや工作、スタンプラリーなど、子どもたちが楽しめるコーナーが盛りだくさん！ぜひご家族みんなでお越しください♪ ※臨時駐車場をご用意しています。

入場無料

【日時】10月26日(日) 13:00～16:00 (入場受付 15:30 まで)

【場所】稲荷児童センター及び南地区コミュニティセンター

【お問い合わせ先】佐世保市立稲荷児童センター

TEL (0956) 34-1152



ボランティア
クイズ
QUOカードが
当たる！

問題！ 今回ご紹介した「みんなのわいっほ●●●」

●に当てはまる言葉をお答えください！

答えは、ハガキかEメールで ①住所 ②氏名 ③年齢 ④クイズの答え ⑤くれよんの感想・ご意見をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。抽選で3名様にQUOカード(1,000円)をプレゼントいたします。(当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます)【応募締切】令和7年11月30日(消印有効)

宛先：〒857-0864 佐世保市戸尾町5-1 させぼ市民活動交流プラザ1階
佐世保市ボランティアセンター「ボランティアクイズ」係
E-mail: kureyon@sasebo-shakyo.or.jp



NPO法人 みんなのわいっほいっほ
代表 平山 愛理 氏

2025年度 第4号
令和7年10月1日

こころをつなぐ子育て術 ～自閉症、家族からのメッセージ～



写真：令和7年9月4日開催「Puzzle&Peace」語りべカフェ

佐世保市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒857-0864

佐世保市戸尾町5-1 させぼ市民活動交流プラザ1階

TEL: 0956-23-3905 / FAX: 0956-42-0102

E-mail: kureyon@sasebo-shakyo.or.jp

時間/10:00～18:00 (火～土)

休館日/月・日・祝日・年末年始・プラザの休館日

ボランティア情報を直接お届け！
LINE 公式アカウントがあります。



@227atur1



させぼん

10月11月の休館日

10月

5日 6日 12日 13日

14日 19日 20日

26日 27日

11月

2日 3日 4日 9日

10日 16日 17日

23日 24日 25日

「くれよん」はボランティアの方々のご協力によって発行されています。

こころをつなぐ子育て術 ～自閉症、家族からのメッセージ～



写真左：平山 愛理 氏

令和7年9月4日、鹿町町にあるコミュニティカフェ「Puzzle & Peace」にて、語りベカフェ「こころをつなぐ子育て術 ～自閉症、家族からのメッセージ～」を開催しました。

コミュニティカフェ「Puzzle&Peace」は、今年1月にオープンした地域の中の「居場所」「たまり場」として、人と人が交流することを目的とした誰もが気軽に参加することができるカフェです。

今回は自閉スペクトラム症及び発達障害、不登校の当事者やその家族への支援事業と災害復興支援事業を行っている「NPO法人 みんなのわいっばいっば」の代表 ^{ひらやま あいり}平山 愛理 氏をゲストスピーカー（特別講演者）にお迎えして、10名の参加者が集い温かい雰囲気の中で行われました。

平山氏は、ご自身の子育て経験をもとに、自閉スペクトラム症のあるお子さんと向き合いながら大切にしてきたこと、家族として感じたこと、社会とのつながりの大切さなどを話され、「困ったときは一人で抱え込まず、声に出すこと」「家族や周囲の理解が、子どもの成長に大きく影響すること」など、参加者一人ひとりの心に響くメッセージを沢山伝えられました。

講話後の参加者とのフリートークでは、日々の子育てや悩みを語り合う中、自然に交流の輪が広がり「同じような悩みを持つ方が多いことがわかった」「平山さんの言葉に勇気をもらった」「応援したい」といった感想が寄せられました。

今回の語りベカフェが参加者の皆さんの心に、子どもたちの成長を支える良き理解者としての ^{ともしひ}灯 となれば幸いです。

平山氏は ^{ユーチューブ}YouTubeでも活動されています。YouTube チャンネル「**あられちゃんねる**」で検索してください。

講話依頼など、佐世保市ボランティアセンターでも受け付けています。



会場の様子と、参加された皆さん



「災害大国」から「防災大国」の日本へ

「関東大震災」が起きたのは今から102年前の大正12年9月1日(土)11時58分でした。震源地は神奈川県で、北海道道南から中国・四国地方にかけ広い地域で地震が起きました。昼食の時間帯で火を使っていた家庭が多かったこと、燃えやすい家財道具を乗せ大八車で避難する人が多かったこと、そして何より地震に対する知識を持っていなかったことから、死者・行方不明者推定10万5千人にのぼり、近代日本において史上最大の被害となりました。



執筆者
させば防災ネットワーク
^{しづや かな}防災士 渋谷 香奈 氏

この震災を教訓に制定されたのが9月1日の『防災の日』です。自然災害が発生しやすい日本で暮らす私たちは、日頃から防災について知り、いざというその時のために備える必要があります。人生の中でケガをしたり、病気になったり、認知症を患うように、どんな人も災害が降りかかる可能性はあるのです。

「もし地震が起きたら?」「もしも津波が襲ってきたら?」「経験したことのない量の雨が降り続いたら?」今のあなたが災害に遭うことを想像してみてください。どこへ・どのように・何を持って・どうやって避難をしますか。あなたの家族やお友達・ご近所の方は、ひとりで避難行動をとることができるでしょうか。

過去の災害から学び、未来の災害へ備える。災害大国でありながら、まだまだ防災大国へは到達できていない日本を加速させることができるのは、今を生きる私たちの意識変革だけです。「私は大丈夫」と思い込まないこと、それが『防災』への大きな一歩です。

3市若者ボランティア団体交流会

令和7年7月26日、大村市のプラットおおむらにて「3市若者ボランティア団体交流会」が開催されました。佐世保市ボランティアセンター、大村市ボランティアセンター、長崎市市民活動センター「ランタナ」に登録されている15歳～40歳くらいまでのボランティアの皆さんが参加されました。

佐世保市からはボランティアグループ「たすけ愛 ^{あい}サークル」が参加し、他市のボランティアグループとの交流を通して、「活動時に印象的だったこと」「活動上の悩みこと」などの意見交換ならびに情報の共有が行われました。



会場の様子